



あいなん逸品図鑑 その④



「イサキ」

一本釣り漁師 おんまやしき さとし
御厩敷 敏さん



愛媛CATV
動画



▲青森県大間市の出身で昭和43年に旧西海町に移り住んだ御厩敷さん。

56歳までマグロ漁船や貨物船で働き、現在はイサキの一本釣りおんまやしきさとしをしている御厩敷敏さん。「小さい頃から、漁師だった家族や周囲の人を見てきたので、漁師以外の仕事は思い付かなかった」と一本釣り漁師になった経緯を話します。

この時期は午前4時半過ぎに武者泊を出港し、4時間ほど漁を行った後、西海地域の市場にイサキを出荷します。

釣れるときは、50~60キロほど取れるイサキですが、今年はオオニベと言われる1メートルを超えるスズキ目の大型魚が多く、仕掛けを切られ、イサキを食べられてしまうことで漁獲量が減っています。「取れる数は少ないが、今の時期のイサキは脂が乗っているので塩焼きで食べるとおいしい」と言い、釣れたイサキに自信をのぞかせます。

今後は、「80歳を超えたのでいつまでやれるか分からないが、船が動く限りはがんばりたい」と話しました。



▲盛漁期は6月から7月で旬を迎え、300gを超えたイサキは脂が乗っています。

「夢の界」



「一本松 春がすみの風景」



読者(町民)の皆さまが撮影した写真を掲載します。

- ▶ 撮影者: 齊藤 みき 美樹さん
- ▶ 撮影日: 6月1日(火) ▶ 撮影場所: 平城大橋

母の四十九日を終え 清々しい風の夕に。
天も地もひと続きの夢の界。

写真募集中!



愛南町
ホーム
ページ

- ▶ 撮影者: 吉弘 そうじろう 宗二郎さん(増田)
- ▶ 撮影日: 5月8日(土) ▶ 撮影場所: あけぼの公園

5月8日(土)の午前6時20分ごろ、あけぼの公園からの眺望で、霧が晴れ始めたところです。

中央右側は株式会社レクザム愛南工場、左奥は広見地区の山際、一番奥の風車は僧都です。